

あいさつ

白鷹町長

佐藤誠七



新年

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月、東西中学校が統合し、新たに白鷹中学校として生まれ変わりました。校歌「友よ」が生まれた10月9日を創立記念日とし、生徒たちは日々の学校生活や様々な行事を通して絆を深め、仲間とともに青春を謳歌しながら新たな歴史を築いております。

さて、このような統合の背景には、人口減少や少子化といった町の抱える大きな課題があります。当町ではこの課題に立ち向かい、今後の持続可能なまちづくりに取り組むべく「白鷹町まち・ひと・しごと創生推進本部」を設置し、町の人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」と、

今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「総合戦略」を策定いたしました。本年はこれらを基に、将来にわたり活力ある白鷹町であり続けられるよう町を挙げて白鷹創生に取り組んでまいります。

また、防災センター・中央公民館・図書館・役場庁舎の機能を有する施設の整備事業である「まちづくり複合施設整備」については、3月末までに基本設計を完了し実施設計に移る予定であります。町民の皆様がより活用しやすいように整備を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

そして、昨年は各地区公民館がコミュニティセンターとして始動した年でもありました。地域による見守り体制の強化や地域おこし協力隊の配

置、学習塾の開催など新しい地域づくりの芽も出てきております。

また、平成25年、26年と2年連続で発生した豪雨災害が記憶に新しいところですが、昨年は幸いにも大きな災害に見舞われることなく被災箇所見舞われることなく被災箇所の復旧を進めることができました。しかし、町民の皆様の心の中には、今もなお災害の爪痕は消えることなく残っていることと思います。今後、引き続き皆様からご意見・ご要望をお聞きしながら、安心・安全に暮らしていける「災害に強いまち」を目指し、まちづくりを進めてまいります。

結びに、皆様にとりまして、この一年が幸多く、実り豊かな、飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。